

令和3年度第2回小金井市青少年問題協議会

< 次 第 >

日 時 令和4年3月30日(水)午前10時

会 場 小金井市役所第二庁舎801会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 青少年問題協議会の審議のテーマについて
(専門委員会からの報告)

(2) その他
(関係行政機関からの報告、連絡調整事項)

4 閉 会

資料

- 資料4 令和3年度小金井市青少年問題協議会開催状況
- 資料5 令和3年度専門委員会の活動の概要報告
- 資料6 小金井市子どもオンブズパーソン事業概要

令和3年度小金井市青少年問題協議会開催状況

1 青少年問題協議会

回	日 時	場 所	会 議 次 第
第1回	令和3年9月8日(水) 午後2時～3時	小金井市 役所 第一会議 室 及び オンライ ン	議題 1 開 会 2 委嘱状の伝達 3 市長挨拶 4 自己紹介 5 議 題 (1) 副会長の互選について (2) 会長職務代理者の指名について (3) 過去に実施した意見具申、提言等の 概要 について (4) 今後の進め方について（専門委員会 の立 ち上げ） (5) その他

2 青少年問題協議会専門委員会

回	日 時	場 所	会 議 次 第
第1回	令和3年11月9日(火) 午前10時～11時	桜並集會 所 集會室A	1 開 会 2 議 題 (1) 委員長の選出について (2) 副委員長の選出について (3) 専門委員会による調査、協議のテー マ について 3 閉 会
第2回	令和3年12月23日(木) 午前10時～11時30分	桜並集會 所 集會室A	1 開 会 2 議 題 (1) 専門委員会による調査、協議のテー マ について (2) その他 3 閉 会
第3回	令和2年2月4日(金) 午前10時～11時40分	オンライ ン	1 開 会 2 議 題 (1) 専門委員会による調査、協議のテー マ について 3 閉 会

専門委員会の活動の概要報告（令和3年度）

青少年問題協議会専門委員会
委員長 浅野 正道

1 第1回専門委員会（令和3年11月9日）

議題	(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 専門委員会による調査、協議のテーマについて、過去の経過を踏まえて、検討。
協議の要旨	(1) 互選により専門委員長に浅野委員、専門副委員長に金井委員を選出。 (2) 各委員より、現在の市内の青少年に関する問題とその啓発方法について案を出し合い協議した。
結果	協議のテーマについて各委員同士で意見交換した結果、(1)コロナ禍での生活の実態や、(2)ネットリテラシー、ICT化が今期のテーマ候補として挙がり、今期のテーマについては次回引き続き、アンケートの手法等も含めて総合的に議論していくこととなった。

2 第2回専門委員会（令和3年12月23日）

議題	(1) 専門委員会による調査、協議のテーマについて（前回の会議より継続）
協議の要旨	(1) 前回の議論をベースに引き続き各委員より、現在の市内の青少年に関する問題とリーフレットによる啓発方法について協議。
結果	調査、協議のテーマ案は「コロナ禍の実態」とする。なお、合わせて意見の多かった「ICT化」については、コロナ禍に対応するものをアンケートの設問中に一部含めることで対応する。 調査方法はアンケート調査とし、インターネット調査を含めた方法を検討することとした。

3 第3回専門委員会（令和4年2月4日）

議題	(1) 専門委員会による調査、協議のテーマについて（前回の会議より継続）
協議の要旨	(1) 「コロナ禍に関するアンケート（案）」について事前送付された事務局のたたき台を元に作成、追加修正等を行う。子ども用アンケート（案）を元に設問の内容及び調査方法について議論する。
結果	中学生用のアンケート（案）を元に設問の内容を確定する。アンケートはコロナ禍の影響を受けた中学3年生、小学6年生及びその保護者用を作成し、7月頃に子ども・保護者同時に実施する。保護者と子どもの認識の違いを調べ、青少年問題協議会としてのメッセージを加えて、保護者に対して結果の周知・啓発を行う。啓発はリーフレットの作成・配布により行う。以上の内容を、専門委員会で作成した「アンケート（案）」と共に、3月開催の本体会議で専門委員長より報告する。

(裏面)

○ 審議テーマ (仮)、アンケート調査の内容および結果の周知・啓発について

1 審議テーマ 「コロナ禍の実態」

2 アンケートの内容

各家庭の子ども・保護者のコロナ禍での変化の状況・認識についてアンケート調査をする。

「アンケート (案) (子ども用・保護者用)」については、添付のとおり。

3 アンケートの取り方

抽出校 : 市内公立小・中学校各 2 校

(調査協力校については後日調整。)

実施対象 : 小学校 6 年生・中学校 3 年生 (各 4 クラス) の児童・生徒およびその保護者に対して、同時期に実施。

実施時期 : 令和 4 年 7 月上旬 (予定)。夏休み前に回収の上、集計・分析。

10 月以降、リーフレットの構成も含めた検討作業。

4 アンケート結果の周知・啓発について

保護者に向けた啓発内容としてリーフレットを作成。主に小中学校を通じて配布を予定。また、同一内容を市ホームページに掲載。(令和 5 年 6 月頃)

	No.	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
人間関係	1	コロナ前と比べ、あなたとの関係に変化を感じた人はいいますか？	先生などの家族以外の大人	友達	家族	その他・いない
	2	Q1で「変化があった」人に伺います。それは、どのような変化ですか？	コロナが理由で良い方向に変わった	コロナが理由で悪い方向に変わった	コロナではない理由で良い方向に変わった	コロナではない理由で悪い方向に変わった
家庭	3	コロナ前と比べ、あなたに対する保護者の態度は変わりましたか？	良い方向に変わった	悪い方向に変わった	変わらない	
	4	コロナ前と比べ、保護者が家にいる時間はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	5	Q4で変化があった人に伺います。あなたは、家の中の雰囲気をごどのように感じていますか？	居心地がよくなった	あまり変わらない	やや悪くなった	とても居心地が悪くなった
気持ちの変化	6	コロナ前と比べ、あなたの「楽しいという気持ち」はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	7	コロナ前と比べ、あなたの「不安・心配という気持ち」はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	8	コロナ前と比べ、あなたの「学校に行きたいという気持ち」はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	9	コロナ前と比べ、あなたの「勉強の大変さ」はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
コロナ禍(状況認識)	10	あなたは大人(社会・学校)が考えたコロナへの対策をどう思いますか？	満足	やや満足	やや不満	不満
	11	あなたは、コロナの感染対策への大人の取り組み方について、どう思いますか？	大人も十分対策していると思う	大人自身は不十分で子どもにだけ厳しいと思う	まだまだ足りないと思う	その他
	12	あなたがコロナの感染について、心配なのは何ですか？	自分がかかること	家族がかかること	気付かないうちにうつしてしまうこと	学校等が休みになること
	13	あなたが感染対策の制限について、イヤなのは何ですか？	手洗い、マスク、換気などの基本的な感染対策	給食や行事縮小などの学校生活での制限	外出を控えるなどの家庭生活での制限	その他・特にない
	14	あなたが中止や縮小になって残念なのは何の行事ですか？	学校の行事	家族の行事	地域の行事	その他・特にない
IT機器との付き合い	15	あなたは、お家の人とでスマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)のルールを決めていますか？	決めている	以前はあったが、今はない	決めていない	その他
	16	コロナ前と比べ、スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)は、変わりましたか？※勉強を除く	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	17	Q16で変化があった方に伺います。どのくらい変わりましたか？	30分以内	30分～1時間	1～3時間	3時間以上
	18	コロナ前と比べ、あなたの保護者は、スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)は、変わりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	19	Q18で変化があった方に伺います。どのくらい変わりましたか？	30分以内	30分～1時間	1～3時間	3時間以上
	20	あなたは、スマホやネットを使った後に、体調の変化を感じたことがありますか？	特にない	疲れやだるさを感じることもある	痛みやしびれを感じることもある	体ではなく精神的な変化を感じる
	21	あなたは、この1年でパソコンやタブレット操作が上手になりましたか？	とても上手になった	上手になった	変わらない	下手になった
	22	あなたは、勉強のために、家や学校でパソコンやタブレットを使うのは好きですか？	好き	どちらでもない	嫌い	
	23	Q22で「好き」と回答した人に伺います。その理由は何ですか？	パソコン等を使わない授業と比べて楽しいから	操作すること自体が楽しいから	自分のペースで学習が進められるから	その他
	24	(保護者のみに、自宅環境の設問)				

	No.	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4
人間関係	1	コロナ前と比べ、お子さんとの関係に変化を感じた人はいいますか？	先生などの家族以外の大人	友達	家族	その他・いない
	2	Q1で「変化があった」人に伺います。それは、どのような変化ですか？	コロナが理由で良い方向に変わった	コロナが理由で悪い方向に変わった	コロナではない理由で良い方向に変わった	コロナではない理由で悪い方向に変わった
家庭	3	コロナ前と比べ、お子さんに対する保護者の態度は変わりましたか？	良い方向に変わった	悪い方向に変わった	変わらない	それ以外の変化がある
	4	コロナ前と比べ、保護者が家にいる時間はどうになりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	5	Q4で変化があった人に伺います。お子さんは、家の中の雰囲気をごどのように感じていると思いますか？	居心地がよくなった	あまり変わらない	やや悪くなった	とても居心地が悪くなった
気持ちの変化	6	コロナ前と比べ、お子さんの「楽しいという気持ち」はどうかと思いますか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	7	コロナ前と比べ、お子さんの「不安・心配という気持ち」はどうかと思いますか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	8	コロナ前と比べ、お子さんの「学校に行きたいという気持ち」はどうかと思いますか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	9	コロナ前と比べ、お子さんの「勉強の大変さ」はどうかと思いますか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
コロナ禍(状況認識)	10	あなたは、大人(社会・学校)が考えたコロナへの対策をどう思いますか？	満足	やや満足	やや不満	不満
	11	あなたは、コロナの感染対策への大人の取り組み方について、どう思いますか？	大人も十分対策していると思う	大人自身は不十分で子どもにだけ厳しいと思う	まだまだ足りないと思う	その他
	12	あなたが、コロナの感染について、心配なのは何ですか？	自分がかかること	家族がかかること	気付かないうちにうつしてしまうこと	学校等が休みになること
	13	あなたが、感染対策の制限について、イヤなのは何ですか？	手洗い、マスク、換気などの基本的な感染対策	給食や行事縮小などの学校生活での制限	外出を控えるなどの家庭生活での制限	その他・特にない
	14	あなたが、中止や縮小になって残念なのは何の行事ですか？	学校の行事	家族の行事	地域の行事	その他・特にない
IT機器との付き合い	15	ご家庭では、スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)のルールを決めていますか？	決めている	以前はあったが、今はない	決めていない	その他
	16	コロナ前と比べ、お子さんは、スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)は、変わりましたか？※勉強を除く	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	17	Q16で変化があった方に伺います。どのくらい変わりましたか？	30分以内	30分～1時間	1～3時間	3時間以上
	18	あなたはコロナ前と比べ、スマホ・ネット・ゲームなどを見る時間(スクリーンタイム)は、変わりましたか？	増えた	減った	変わらない	コロナではない理由で変化があった
	19	Q18で変化があった方に伺います。どのくらい変わりましたか？	30分以内	30分～1時間	1～3時間	3時間以上
	20	あなたは、スマホやネットを使った後のお子さんの様子について、体調の変化を感じたことがありますか？	特にない	疲れやだるさを感じているようだ	痛みやしびれを感じているようだ	体ではなく精神的な変化を感じる
	21	お子さんは、この1年でパソコンやタブレット操作が上手になりましたか？	とても上手になった	上手になった	変わらない	下手になった
	22	お子さんは、勉強のために、家や学校でパソコンやタブレットを使うのは好きですか？	好き	どちらでもない	嫌い	
	23	Q22で「好き」と回答した人に伺います。その理由は何ですか？	パソコン等を使わない授業と比べて楽しいから	操作すること自体が楽しいから	自分のペースで学習が進められるから	その他
24	あなたの家は、オンライン授業を受けられる環境がありますか？(タブレットは持ち帰りの場合)	問題なくできる	ネット環境がなく難しい	子どもが集中できる環境がなく難しい	その他の理由で難しい	

子どもオンブズパーソン事業概要

1 目的

小金井市子どもの権利に関する条例（平成21年条例第11号）第16条の規定に基づき、子どもの権利の侵害に関する相談及び救済に取り組み、もって子どもの権利を実現する文化及び社会をつくる。

2 事業概要

子どもの権利を実現するために、専門的知見を有する独立した立場から、子どものあらゆる相談に対応し、子ども一人一人に寄り添い、子ども自身の考えを尊重しながら、当該子どもにとって一番良い方法を子どもと共に考え解決を目指すとともに、子どもの権利の意識を高める取組を行う。

3 内容

(1) 業務内容

子どもの相談に対応する子ども相談室（仮称）を令和4年9月（予定）に開設。

子どもの相談に基づき、関係の再構築などの必要があると認める時や、当事者間で意見の食い違いがある場合等は、子どもオンブズパーソンが間に入り、子どもの気持ちを尊重しながら、子どもの最善の利益に基づく相互理解を促す調整活動や支援を行い、悩みの解決を目指すとともに、権利侵害があった場合には申立てに基づく調査、調整、勧告等を実施。

相談・救済活動の他、子どもの権利の普及啓発事業を行う。

(2) 体制

子どもオンブズパーソン 3人以内（弁護士、他自治体オンブズ経験者等）

会計年度任用（月額制）職員 3人（相談・調査専門員。有資格者）

正規職員 1人（事務局）

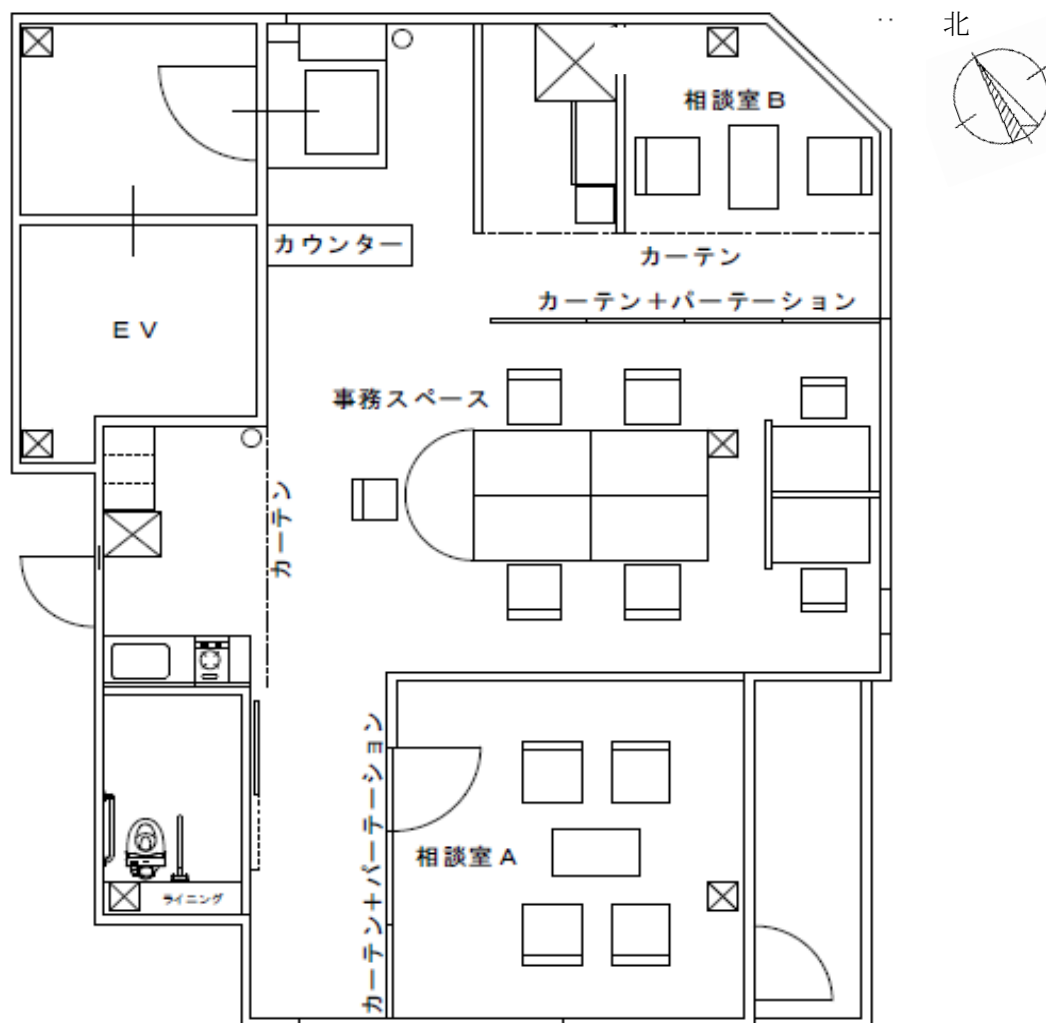
4 賃借物件（予定）

(1) 住所

東京都小金井市中町3丁目9番10号



- (2) 対象区画
4階 71.8㎡ (21.71坪)
- (3) 契約期間
令和4年5月1日から令和9年4月30日まで (5年間)
- (4) 開設日
令和4年9月1日
- (5) 間取りイメージ



5 主なスケジュール (案)

年月	物件関係	その他
令和4年4月	準備室開設・相談室名称募集	・委員委嘱・相談員雇用
5月	物件契約	・開設準備期間 (愛称募集・啓発印刷配布・学校等挨拶・職員研修 (含む視察)・相談受け方や集計方法等マニュアル作成)
6月	内裝修繕開始	
7月	内裝修繕完了・相談室名称決定	
8月	ネットワーク回線敷設・引越し	
9月	相談室開設	・以降に市民説明会他、啓発を実施